生物多様性環境検討会」(委員長・吉田丈人東京大学大学院総合文化研究科広域システム科学系

国土交通省は十一月十七日、東京・霞が関の同省特別会議室で第一回「多摩川河口域における

1域の改善計

携

(1)

第2382号

内閣官房は十一月十一 千代田区大手町のフ

懇内閣官房

水害対策で戦略的政策課題

小此木特命相

クラシア東京ステーショ

ン会議室で第五十七回 **大学大学院工学研究科教** 「ナショナル・レジリエ

当日の懇談会では小此

係省庁が進捗状況を報告 略的政策課題について関 的に取り組んでいく。 した。地域コミュニティ

のもと水害対策などの戦 | に立ち「われわれのこれ | うに感じている。これを の意識が高まっているよ さらに普及啓発していく 防災・減災に対する国民 までの取り組みにより、 皆さまのご助言をしっか



協力して取り組んでいく

と述べ、活発な意見交換 りとまとめていきたい」 関係省庁が進捗状況を報告 を促した。 続いて内閣官房国土強

のまちづくりなどに一致 避難体制の整備、復興時 るとともに、災害予防、 や防災リーダーを育成す として災害ボランティア 戦略的政策課題について 部科学省、消防庁などが

変動の激化で頻発する集 ると指摘。床上浸水など 適切に対処するため、従 中豪雨や大型台風などに 来の行政主導型ハード・ 水害対策ついては気候

生物多様性向上へ実証試験

境改善の成果は東京湾水環境再生計画などに適切に反映させていく考えだ。

の生物が確認されている多摩川河口域で生物多様性の保全・向上を図る実証試験に着手する。 准教授)を開催した。同省関東地方整備局と環境省関東地方環境事務所が緊密に連携し、汽水域



髙田局長

地域コミュニティを強化

生息ポテンシャルが高い ウナギに代表される遡上 場所となっている。とく 魚や汽水域の生物などの

多摩川河口域はニホン

のある場所などのさまざ一まな環境が存在すること

配管支持金具



〒104-8251東京都中央区新富1-19-2 **☎**03-3552-7331(大代表) 営業本部 **☎**03-3552-7091(代 表)

は岩礁に生息するカサゴ 思環境の<br />
形成も<br />
期待され ・メバルなどの生物生息 であるニホンウナギの生

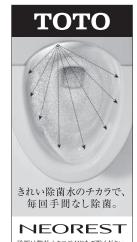
き学識者やNPO法人な このため国交省は東京



ビ、アシナ 科、ユビナ コ、イシガ ゼ、ボサ・ ガスジエビ ダイ、マダ でテンジク 穴子籠観察 ニ、モエビ

## 発 行 所 (株)日本設備工業新聞社

東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ピル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884 info@setubikougyo.co.jp 年極8,800円(稅·送料込)



適切な環境管理を行う。

環境再生にきわめて効果 がある。この初の試みに の浅場は多様な生物生息 凜場の 形成は東京湾の水 めいさつに立ち「浅場・ に高いポテンシャルを秘 ユウレイボヤ、メバル それによると目視観察で 調査結果について報告。 季・夏季のモニタリング おける周辺海域状況と春 した礫浅場の造成前後に 潜水目視観察でアカ イシガ

同けて当省は環境省と強

高効率を追求するテラル テラルの新コンセプト「Triple C」による

化事例を全国的に共有化

おけるコミュニティ強

キャビネット型加圧給水ポンプユニッ

推定末端圧力一定 給水ポンプユニット CXV型



ヒト

省電力

11・優れた施工性

屋外設置可能 ● 充実の標準装備 ● 低振動 ● 安心·安全機能

テラル株式会社 本 www.teral.net

社/〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777 東 京 支 社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階 東京・大阪など 全国9支店、 47営業所